

令和4年（2022年）度 第46回大垣北高関東同窓会総会のご報告

2022年12月

大垣北高関東同窓会会長 福澤賢治

2019年11月の第43回総会の直後から全世界に蔓延した新型コロナウイルスは私たちの暮らし方そのものを大きく変えました。関東同窓会も例外ではなく、活動が大きく制約されました。

今年に入り、時期尚早との懸念もありましたが、6月に新卒業生歓迎会を対面で開催。また、8月には大垣の同窓会総会も制約付きながら対面で開催されており、この度、3年ぶりの関東同窓会の開催に踏み切らせて頂きました。

【総会の模様】

総会は10月9日（日）、2017年からコロナ禍前の2019年の第43回総会まで毎年利用していた四谷の主婦会館プラザエフにて、大垣から鈴木彰大垣北高校長先生、今川嘉章大垣北高同窓会副会長をお迎えして開催しました。

未だ収束しないコロナ禍のため、大事を取られて参加を見合わせられた方も多量中、54名の方にご参加頂き、盛大な会となりました。本校と協力して毎年開催してきた新卒業生歓迎会に出席した学生の方々からも、1年生から4年生まで11名が参加してくれました。

通常の総会の行事に引き続き、今回は大垣からいらして下さった田中屋煎餅総本家（大垣せんべい）の田中裕介氏（43回生）の司会で『一分間自己PR大会』を行い、希望者が引きも切らない状況でした。また、田中氏は自身を中心とした大垣の同窓会有志で編集・出版した「大垣北高しごと・ひと図鑑（北高卒業生105人のメッセージが掲載されています）」を進路の参考として、参加した学生の方々に無料で贈呈されました。

最後に北高合唱部OB・OGの指導により校歌「あかねさす」を全員で斉唱、再会を約して散会しました。

初めて参加した学生からは『多方面に活躍されている先輩方の姿を拝見することが出来、励みになりました。』といった感想が数多く寄せられ、先輩の世代からは『学生たちに元気をもらった』といった声が聞かれました。

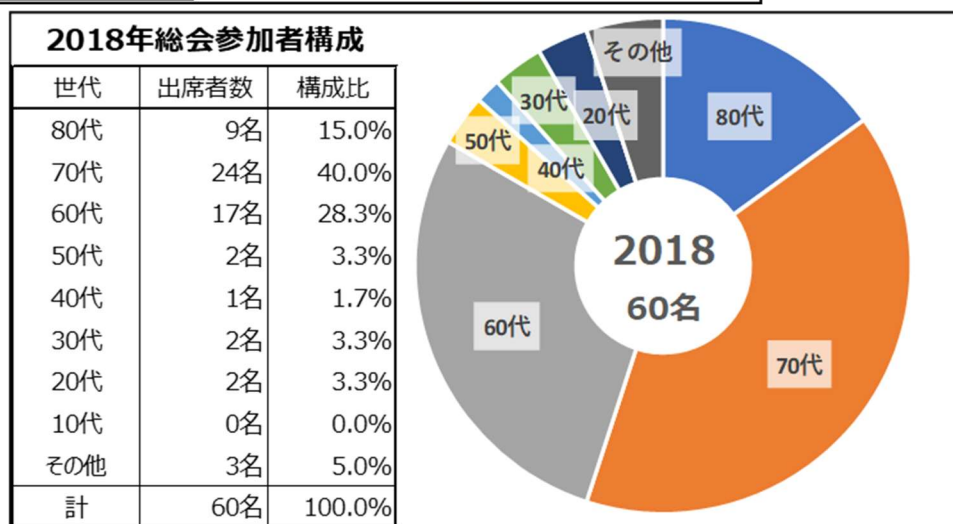
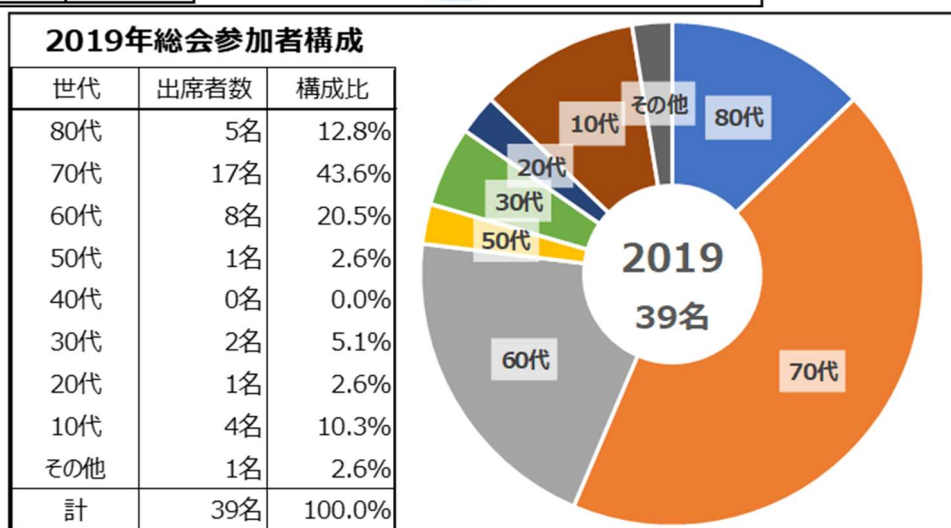
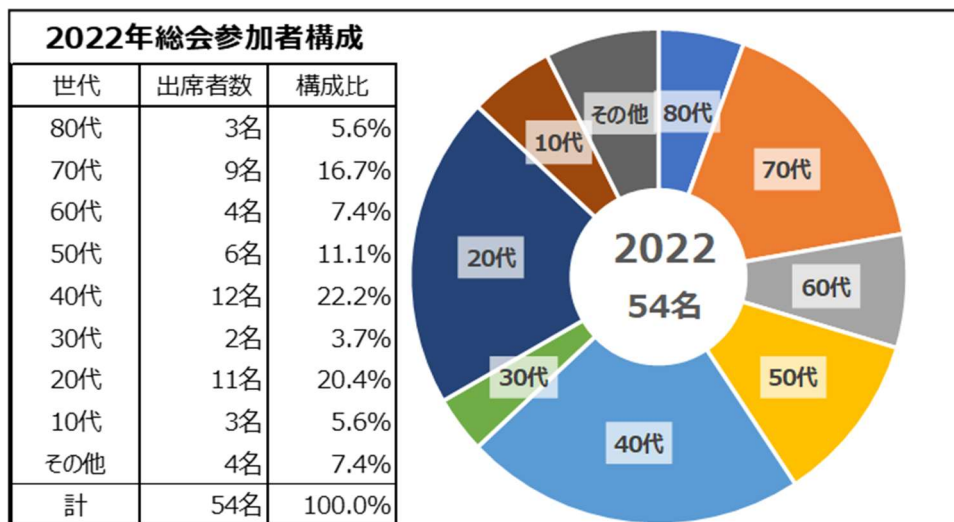
【分析と展望】

今年の総会で特筆すべきことは、今まで一貫して60代以上の方が7-8割を占めていた参加者が様々な年代に広がったことです。

2018年、2019年および今年の総会に参加頂いた方の年齢構成のグラフを次ページに掲載しました。コロナ禍の影響もあり、長い間関東同窓会を支えて頂いた70代以上の先輩方のご参加が細ってしまいました。その一方で“大垣北高同窓会 Face Book”等のSNSを通じて総会を知り、参加下さった40代を中心とした働き盛り世代と、新卒業生歓迎会を通じて輪が広がった20代の学生に多数ご参加頂きました。来年以降も幅広い世代から、更に多くの方にご参加頂ければ、と願っています。

従来から懸念されていた同窓会の次世代継承の問題は、今年の総会で解決の糸口が見えたように思います。

*なお、今年の総会出席者の名簿をご覧になりたい方は、会までご連絡頂ければ個別にお知らせします。



上記グラフの“その他”とは北高の先生方や卒業生のご家族など、北高卒業生ではない方です。

また、年齢は各年の総会開催時のお歳です。

2020年・2021年の総会はコロナ禍のため開催しておりません。

【来年の総会】

令和5年（2023年）度の大垣北高関東同窓会総会は2023年10月8日（日） 正午より
本年と同じ四谷の主婦会館プラザエフで開催する予定です。

時間等、詳細については追ってお知らせ致します。皆さまのご参加をお待ちしています。